

日本とトヨタがEV市場で遅れを取り戻すには？ ー他国との比較を題材としてー

経済学部・李ゼミ

丹羽諒・長橋京・福地孝斗・岸川莉子・四方真尋・村松歩美

本研究の目的と背景

背景：世界的な脱炭素の流れにより、自動車業界ではEVへシフトが拡大している。トヨタはEV分野での遅れが指摘され競争力確保が急務となっている。

目的：世界のEV市場の他社や他国の比較を通じて、日本やトヨタ自動車在今后EVより深く参入していくための課題や今後の戦略を提案すること。

★テーマを選んだ根拠

トヨタ世界販売台数ランキング1位←EV販売台数も上位なのは？

→EVは世界19位であり比べると少ないのは明らかである

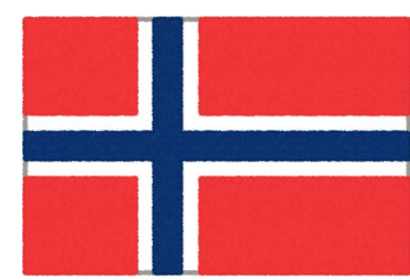
ノルウェーのEV推進策事例

☆EV普及率世界1位エネルギー大国 **ノルウェー**

○ノルウェーでEVが普及する3つの要因

①**強力な国の推進政策**

- ・EVやPHEVに対する優遇政策が充実している
- ・公共サービス利用での優遇



②**圧倒的な充電インフラの整備**

- ・ノルウェー国内の公共充電施設が約20,000箇所あるため充電切れの心配なく走行可能（2022年時点）

③**特殊な住宅事情**

既に各家庭にEV充電用コンセントが存在

④**豊富な再生可能エネルギー**

- ・国内の電力需要のほぼ全てを水力発電で補っている

トヨタが出遅れた理由、普及の鍵

出遅れた理由：①ハイブリット車のパイオニアとなったこと②水素燃料電池車に過剰投資③EVが急速に成長することを低く見積もる

普及するには？→**全個体電池！！**

「航続距離」「充電時間」「安全性」全ての不安を解決できる。

★メリット

イオンが速く動ける

→**充電時間が短い・航続距離が長い・高出力**

結論

・日本はEVに対して前のめりになることが必要！

→税制優遇や補助金制度、充電インフラ補強など

日本は再エネ比率が高くないため電力源の対応も求められる

・トヨタについても、価格やEVバッテリーにおいて世界から期待されてる分、顧客が納得いくものを提供することができなければ、海外EV企業に日本顧客を奪われてしまう

→トヨタも日本政府もEVに対して、より継続的かつ積極的な取り組みをしていくことが国際EV市場に追いつく為に必要！！

日本でEVが流行らない要因

○充電インフラの不足

日本全国で充電スポットが不足している

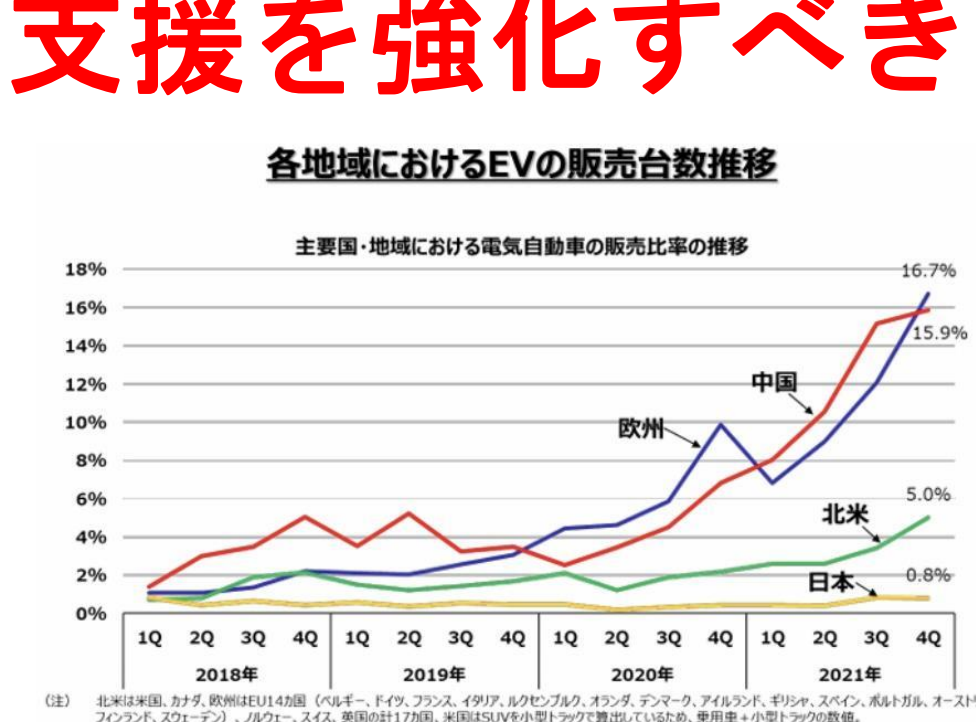
○購入価格がガソリン車よりも高い

EVは初期費用が高く、日本ではEVに対する優遇措置が少ない

○EVの選択肢が少ない

現時点でEVの種類は少ない

→**EVの販売台数と国からの支援金額はある程度相関関係があるため、日本はEVやEV関連への支援を強化すべき！**



各国のEVへの支援上限額
(2021年)

フランス	96万円
アメリカ	91万円
ドイツ	82万円
日本	40万円 (R3当初)
中国	26万円
イギリス	24万円

(出典) 各種公表情報をもとに作成
(注) 1円=130円、1ユーロ=137円、1ポンド=162円、1元=20円で計算
ドイツは自動車会社の負担分を差し引いた額

日本の現状と今後のEV推進策

☆日本のEV事情 日本でもっとEVを広めるために...

①国の強力なEV推進政策

②充電事情の自立化・高度化

③再生可能エネルギーの導入促進

→**日本政府の積極的な補助が必要である**

☆EV推進策の一例 充電インフラの整備！！

トヨタが急速充電器の設置を加速

トヨタが全面的に協力することで、消費者に経済面、環境面での利点がよく伝わる

↓
消費者の意識改革に繋がる

☆海外での一例

中国で**ナンバープレート優遇**が行われている

街頭アンケートから分かったこと

1. 消費者はEVの普及を期待しているが課題を感じている
多くの消費者がEVが未来の主流になると考えているが、**価格の高さや充電インフラの不足**、航続距離の短さ等が障壁となっている。
これらの課題をスムーズに解決していくことが日本の課題である。
また解決しない限りEV普及はスムーズに進まないと言える。

2. トヨタには「信頼性」と「革新性」の両立が求められている
トヨタには**手頃な価格で高性能なEVの提供が強く期待されている**。またバッテリー技術の向上やインフラ整備への貢献など、消費者が抱く不安を解消する取り組みが必要。トヨタのブランド力を生かしながら、他社を上回る革新性をアピールすることが競争力強化のカギとなる。

参考文献

電気自動車は環境に悪いって本当？メリットとデメリットを徹底解説！-自動車整備士お役立ち情報「関東工業自動車大学校」専門学校」
EVとは？HVCVとの違いや特徴、普及に向けた政府の取り組みを解説 朝日新聞SDGs ACTION!
相次ぐEV火災の「消えない火」…バッテリー発火や燃焼の恐れ 日経クロステック (XTECH)
消費電力100%電力による走行距離の検証開始。EVOS11をテスト (Response.jp)
日本で電気自動車 (EV) が普及しない理由「課題と今後の対策案」あなたを「あたりまえ」の未来へ「電気自動車 (EV) のCARSMORA
ノルウェーでEV (電気自動車) が普及している3つの理由